

巨乳黒ギャルJKの
エッチなCG集

B:90W:59:H87の
グラマーボディ
性格は強気で積極的♡

汁多め、汗と愛液と精液で
全身ぐしょ濡れ

基本CG:7枚

はじめてはギャル

その3

- 筆おろし騎乗位
- ヤリまくり正常位
- 全力淫乱騎乗位
- 言葉責め手コキ
- 遊び気分でパイズリ
- 私服でフェラチオ
- 援交? 即ハメ密会



「ほら見て、もう入っちゃってるよ♥奥までずっぽり♥」
「はは、童貞くんの童貞チンポ……」
「初めてのオマンコの感触経験しちやつて喜んでる♥」
「ウチの膣内で超暴れて……破裂しそうなくらい膨張してる♥」
「ねえ、このまま中出しキメて、その拗らせた童貞性欲存分に発散させてみせてみ♥」

「死ぬほど気持ちいいと思う
だから思いっきり中出し
ほらほらあ……とびきり
腰振つてあげるからあ♥」

ぐびっ

「童貞卒業やったね♥どうだった？初セックスの感想は♥」
「気持ち良かったでしょ？顔に出てるもん♥」
ねえ……これからもこういふ遊び……たくさんしようよ♥

「もっと軽い感じですか……中出しセックスしまくって……ね？」
「性に乱れた楽しい学園生……ウチと一緒に送ろうよ……」
「あと……ウチ求められたら……覚えといてね♥」



「きゃあつ♡……何この量♡どんだけ溜め込んだよ♡」
「おっぱいも髪も顔も精液でべつとり……もおん♡」
「……こんな濃い危険日に出しされたら一発で妊娠確定だね♡」

「ふふ……気持ちよかった？」
「また気が向いたらウチのおっぱいで遊んだげる♡」



「何回も突いてえっ♥何回でも出してええっ♥
何回でもされるの気持ちいいあらあ♥
「んああっウチの弱いとこばっか突いてえ
いいよおまた昂ぶつてきたあ♥
ウチもうイキまくつて敏感になりすぎで……すぐイっちゃうっ♥」

「ずりめずりめGスポットかき回されてヤバイっ♥
来るっ……来ちゃうっ♥オマンももうイっちゃうっ♥」

もみゅ

チ

ヅ

ズ

「ふあああああ♥またイカされちゃったあああ♥
頭ん中フワフワして痺れてるのヤバイい♥
……なんか変な世界飛んでっちやいそうだってばあ♥」
「こんな何度もイカされたらチンポ中毒になっちやううう♥」

「気持ちいい……もっとお……もっとお……もっとお……
ああもう中毒になつてるかもあ……♥」



「やっとな……打ち止め？……本当底なしだなお前の性欲……
まあウチもだからいいけど……結構相性いいよねウチら♥」
「ウチってドスケベだから……これから先のこと考えると
楽しくて興奮しちゃう……どんな遊びができるんだらうって♥」

「……これからもたくさん遊ぼう♥」



ト
こ
こ

ね
え

ね
え

は
え
持
ち
？

ん
ご
う

ど
い
ち
？

「学校の廊下でチンポ
お前そうとうヤバイ
「なんだよ？嫌なら抵
……しないならこの
射精しちまうだけだ

「そうか、気持ちいいの？ん？言ってみるよ……素直になれって……
そしたらきつと……もつといいことされるかもよ♡」
「あはは言った言った♡学校で彼女でもなく友達ですらない女に
しごかれて気持ちいいんだ♡……盛の付いたワンコちゃんだな♡
なんならウチが今日からご主人様になつてやろうか？」

「ウチが命令したらす
……そんなで従順なら
ワンステップずつの内
なつていくつての面

「いつワンステップ上がるのか……
何ステップ上がればお前がさつきから頭の隅で期待してる
ウチのオマンコにこれをぶち込めるのか……」

「期待すると興奮するだろ？」

「何だよもう出そうなのか？……しょうがない発情犬だな……」

「出すときはワンって言えよ……ホラ……」

「好きなだけ出して犬みたいに鳴いちゃえ！」





時間も場所も謎に包まれた、怪しい雰囲気漂う一室で、
一人の黒ギヤルが男と性交渉に及んでいた。

シートに散乱した使用済みのゴム、飛び散る汁の量、
黒ギヤルの蕩けきつた表情などから
始まりから長い時間が経過していることが伺えた。
枕元にはお金が置いてあり、それがこの現状を作り出した要因を思わせ
だが黒ギヤルは既にお金なんかには目もくれず男と交わることに夢中の



避妊具を着用せず、挿入され乱暴に膣奥を突かれる黒ギャル。だがその表情に嫌悪感などは一切見えず、むしろ自ら進んで男を最愛の人のように求め乱れていた。

ひびきト

おー

おー

突かれる度に心底嬉しそうに嬌声を上げ、体中を痙攣させいていた。その反応に男は喜びさらに激しく腰を振り、黒ギャルの締りのいい膣を容赦なく責め立てる。そして、やがて限界を迎え、男は本能の赴くままに黒ギャルの膣奥で射精を達成した。



黒ギャルは羞恥も理性も捨て去って、ただイクことに懸命に取り組んだ。その恍惚としたイキ顔は、ただ種付けをされた雌そのものだった。

男はベッドの隅で一服をしスマホを弄っていた。黒ギャルは使用済みのゴムと同じようにベッドに放置されしばらく放心状態のままだった。黒ギャルが正気に戻った時、何を思いどういふ選択肢を選ぶのかは当人にしかわからない。





「あんっマジ気持ちいい♡チンポ擦れまくって気持ちよすぎるって♡
マジヤバイからあ♡」
「腰止まんないっ♡ああ生チンポ最高っオマンコ超気持ちいい♡」
「二生繋がってたい♡朝から晩までずっとセックスし続けてたいっ♡
そんなわいお前とするセックス好きいいいい♡」

「もうわちイイクからっ……」
「……一緒にイきたいっ♡一緒に」
「ああっもうダメえっ♡もう」
「マジでイっちやうっちやうっ」

もっもっもっ

もっもっもっ

もっもっもっ

びゅん

